

【当日の詳細なスケジュール】

5/18 (金)

14:00	東北大参加者北大着. 昼食後材料化学棟に移動 (事前に大きな荷物は宿泊先に預けてもらう)
14:30	ラボツアー開始 (材料化学棟 MC102 をクロークとして利用) (4班に分かれてもらい, 3-4施設を訪問)
18:00	ラボツアー終了. 懇親会会場へ移動
19:00	懇親会 (ウェルカムレセプション, 総務担当)

5/19 (土)

9:00 -	プログラムコーディネーター挨拶
9:05 -	内田先生挨拶
9:10 -	アイスブレイクの説明
9:15-	アイスブレイク (Sphia Card)
9:35-	アイスブレイクの感想
9:45-	進行説明
9:50-	S/H/F 寸劇説明
9:55-	S/H/F 寸劇
10:35-	休憩
10:50-	Buzz Group 体験 お題: おすすめのデートスポットとそこを訪れる時間帯
11:00-	意見の確認
11:10-	分類と分類項目
11:20-	プロモーション
11:30-	Voting
11:40-	グループワーク演習 11:40- テーマ決め 11:50- ワーク 12:05- 意見の分類と分類項目付け 12:15- プロモーション 12:30- Voting
12:40-	Q&A
13:00	終了
14:00	ポスター発表
15:30	アイスブレイク
15:45	ワークショップ(融合研究提案) ※18:00 終了予定

5/20 (日)

9:00	ワークショップ(融合研究提案・続き)
10:30	提案内容のポスタープレゼンテーション
11:30	授賞式・閉会
12:00	解散

【各イベントに関する詳細な企画内容】

●ラボツアー

○目的：これまでの合同シンポジウムでなかなか触れる機会のなかった，“他大学での研究活動”を知ってもらい，相互の研究について理解を深めるとともに，東北大 MD で設定されている北大への短期留学についての留学先選定に活かしてもらおう。また，北大 ALP の特色である“異分野理解”を深める機会とする。

○場所：材料化学棟，理学部 6号・7号館，地球環境科学院 ほか

○企画内容について（詳細は随時決定）

- ・ 研究設備見学のほか，演示実験やプレゼンテーションにより，北大の研究に触れてもらう。
- ・ 見学時には，5-6 人ずつ(4 班)に分かれて見学してもらう。見学先での対応は，見学先に所属しているリーディング学生が主に担当。
- ・ 受け入れに際し，受け入れの要請をリーディング教員（山本先生，石森先生）にさせていただく。
- ・ 以下，見学先候補としている施設・研究室を挙げる。東北大の希望をもとに，今後具体的にあポイントをとる。

表 見学先候補リスト

所属	研究室名	所属	研究室名
理学研究院	物理化学研究室 (村越研)	工学研究院	界面電子化学研究室 (幅崎研)
理学研究院	固体化学研究室 (原田研)	工学研究院	固体反応化学研究室 (島田研)
理学研究院	無機化学研究室 (日夏研)	工学研究院	プラズマ物理工学研究室 (越崎研)
理学研究院	有機金属化学研究室 (澤村研)	工学研究院	超高压電子顕微鏡室
理学研究院	有機化学第一研究室 (鈴木研)	生命科学院	生体分子デバイス研究室 (居城研)
理学研究院	構造化学研究室 (石森研)	生命科学院	ソフトウェットマター研究室 (グン研)
理学研究院	理論化学研究室 (前田研)	地球環境科学研究院	中村研
工学研究院	生物計測化学研究室 (渡慶次研)	地球環境科学研究院	小西研

●ファシリテーション

○目的：ファシリテーションとは何かを知ってもらう。（時間の関係上、大雑把にでもいいのでグループワークにおけるファシリテーターの役割と雰囲気伝える）

○場所：FCC 棟のセミナー室で行う。机を撤去し、イスのみを設置した形で行う。グループワークを行うときに場所が足りなければ、適宜入口のエリアも活用して行う。

○企画内容について（詳細は内田先生が計画）

・アイスブレイク

『Sophia card』

およそ 200 の質問からランダムに抽出された 8 の質問が書かれた紙が全員に配られる。（右図は配布する紙の見本）

質問の例

「ファーストクラスに三回以上乗ったことはあるか?」、「インターハイに出場したことはあるか?」など。

質問に当てはまる人を会場から探して、サインをもらう。8 つの質問すべてにサインをもらえる時間を競う。質問をもって話しかけて回れるので、初対面の人と打ち解けるきっかけになりやすい。質問内容は内田先生が事前に用意。

所属 Dep.	名前 Name
舌で鼻を舐められる人 I can lick my nose	
ゴスペルのユニットのメンバーだ I'm a member of Gospel song group	
右舷タンカーで航海にしたことがある I voyaged with Oil-Tanker	
ポロのゲームに出場した I entered in Polo game	
警察の留置場で一晩過ごしたことがある I stayed one night at jail in police	
金魚を20匹以上飼っている人 I feed more than 20 goldfishes	
ハンドボール(プレーする)愛好家 I'm a votary of handball playing	
ホラー映画DVDを30枚持っている I have more than 30 DVDs of Horror movies	

* 12枚以上の質問か、1質問以上の質問を集めてください。見替紙で質問をセット！
* Please collect signatures from more than 12 persons or for 5 different questions. Get signs in order of arrival!

・模擬ワークショップ

テーマ案①：『他大学のドクターたちとの交流を促進するにはどうしたらよいか?』

テーマ案②：『リーディングでの活動は本当に実社会で役に立つのか?』

●ワークショップ

- 目的：本ワークショップでは、MD・ALPの大学院生同士の研究内容の相互理解の発展や、人材交流の契機となることを目的としている。また、本ワークショップを通じて積極的な意見交換を行うことで、他分野の研究者との融合研究を提案する能力の素地を涵養することが出来ると期待される。
- 場所：応用科学研究棟 2F セミナー室。
- 企画内容について

ワークショップのテーマ・概要	
テーマ	異分野融合研究提案—魅力あるプレゼンで研究費を勝ち取れ—
概要	異分野の大学院生が集まる機会を利用し、融合研究提案をしてもらう。はじめに、各々の研究内容について(異分野の大学生向けレベルで)ポスターセッションをおこない、互いの研究の概要を把握する。その後 6-7人程度のグループに分かれて自由討論形式のワークショップを行う。ここでは、どのような融合研究を行えるか下記の「キーポイント」を参考に議論し、最終的に「研究費獲得のためのプレゼン」をポスター発表形式で行う。
キーポイント	最終的なポスタープレゼンテーションでは、以下のテーマを盛り込むことを課題として設定する。 「必要経費(予算)」、「背景」、「社会貢献できるポイント」、「提案の面白い点」、「誰がどの点を担当するか」、「研究スケジュール(可能であれば)」
備考	
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 班の構成メンバーは、シンポジウム参加者が決定したのち、WS班が事前に決定する ✓ ファシリテーターは、当日発表する(MD・ALPのどちらの学生も可能性あり) ✓ 優秀発表賞を相互投票制で決定する (該当する班には賞状と副賞を用意。賞状のサインなど要相談) 	